



# 山形県感染症発生動向調査

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)

TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486

URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>

2017年5月24日 発行

平成29年第20週(5月15日~5月21日)

## <定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※ ◎ :警報レベル

○ :注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第19週	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	
<b>インフルエンザ定点</b> (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	6786 1.37	159 3.31	151 3.15	▼	71 3.55	68 3.40	▼	20 4.00	14 2.80	▼	52 5.20	60 6.00	▲	16 1.23	9 0.69	▽	11258
<b>小児科定点</b> (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	636 0.20	9 0.30	5 0.17	▼	3 0.23	1 0.08	▼				6 1.00	4 0.67	▽				129
咽頭結膜熱	2079 0.66	15 0.50	14 0.47	▼	9 0.69	8 0.62	▼				6 1.00	6 1.00					176
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9321 2.94	183 6.10	222 7.40	▲	106 ◎8.15	140 ◎10.77	▲	3 1.00	1 0.33	▼	37 6.17	40 6.67	▲	37 4.63	41 5.13	▲	3429
感染性胃腸炎	22893 7.23	254 8.47	293 9.77	▲	128 9.85	159 12.23	▲	19 6.33	9 3.00	▼	67 11.17	76 12.67	▲	40 5.00	49 6.13	▲	2694
水痘	1779 0.56	7 0.23	14 0.47	▲	3 0.23	1 0.08	▼		1 0.33	▲	2 0.33	5 0.83	▲	2 0.25	7 0.88	▲	295
手足口病	1643 0.52	1 0.03	11 0.37	▲		2 0.15	▲		9 3.00	▲				1 0.13		▽	36
伝染性紅斑	249 0.08	8 0.27	10 0.33	▲	1 0.08		▼		4 1.33	▲	7 1.17	5 0.83	▼		1 0.13	▲	88
突発性発しん	1849 0.58	20 0.67	28 0.93	▲	4 0.31	7 0.54	▲	4 1.33	2 0.67	▼	8 1.33	9 1.50	▲	4 0.50	10 1.25	▲	381
百日咳	35 0.01	1 0.03		▼	1 0.08		▼										8
ヘルパンギーナ	307 0.10	2 0.07	1 0.03	▼	2 0.15		▼					1 0.17	▲				20
流行性耳下腺炎	1853 0.58	5 0.17	8 0.27	▲	2 0.15	2 0.15		2 0.67		▼		6 1.00	▲	1 0.13		▽	375
<b>眼科定点</b> (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	14 0.02																
流行性角結膜炎	630 0.91	1 0.13		▼				1 1.00		▼							39
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	319 0.67	7 0.70	1 0.10	▼	7 1.75	1 0.25	▼										53
クラミジア肺炎	2 0.00																
マイコプラズマ肺炎	121 0.25	5 0.50	4 0.40	▼	2 0.50		▼							3 1.00	4 1.33	▲	83
細菌性髄膜炎	16 0.03																1
無菌性髄膜炎	17 0.04																4

## <全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者		1			
つつが虫病	患者	1				

## <通信欄>

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ	2		5	5	17	10	16	5	10	15	3	49	6		
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
	2	3	3												151
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症		1	2			2									5
咽頭結膜熱		1	7	3	1	1		1							14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	9	18	27	25	31	24	21	20	10	27	1	6	222
感染性胃腸炎	2	37	60	36	41	24	20	14	8	10	12	25		4	293
水痘		1		1		1	3	1	3	1	1	2			14
手足口病		1	5	2	2	1									11
伝染性紅斑					1	3	3	1	1	1					10
突発性発しん		13	11	2	1	1									28
百日咳															
ヘルパンギーナ			1												1
流行性耳下腺炎				1	1	2	1	1		1	1				8

<平成29年4月 月報>

2017年5月17日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～4月
	3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	
<b>STD定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数 15	<b>19</b>	3	<b>7</b>	10	<b>11</b>	1	<b>1</b>	1		68
	定点当り 1.50	<b>1.90</b>	0.75	<b>1.75</b>	10.00	<b>11.00</b>	0.50	<b>0.50</b>	0.33		
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数 8	<b>6</b>	1	<b>1</b>	1	<b>1</b>	6	<b>2</b>		<b>2</b>	27
	定点当り 0.80	<b>0.60</b>	0.25	<b>0.25</b>	1.00	<b>1.00</b>	3.00	<b>1.00</b>		<b>0.67</b>	
尖圭コンジローマ	報告数 1	<b>1</b>		<b>1</b>			1				3
	定点当り 0.10	<b>0.10</b>		<b>0.25</b>			0.50				
淋菌感染症	報告数 3	<b>5</b>	1	<b>3</b>			1		2	<b>1</b>	13
	定点当り 0.30	<b>0.50</b>	0.25	<b>0.75</b>					<b>0.50</b>	0.67	<b>0.33</b>
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数 5	<b>5</b>		<b>1</b>			1		5	<b>3</b>	26
	定点当り 0.50	<b>0.50</b>		<b>0.25</b>					<b>0.50</b>	1.67	<b>1.00</b>
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数 23	<b>17</b>	8	<b>8</b>	1		1	<b>2</b>	13	<b>7</b>	73
	定点当り 2.30	<b>1.70</b>	2.00	<b>2.00</b>	1.00		0.50	<b>1.00</b>	4.33	<b>2.33</b>	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数										1
	定点当り										

<トピックス>

【つつが虫病情報】

第20週に、県内で今年初のつつが虫の報告がありました。

つつが虫とは

ツツガムシ(ダニの一種)の幼虫に刺されて、高熱や発疹などの症状が出る病気です。季節的には春から初夏にかけて多く発生し、秋にも発生がみられます。

【症状】

発熱(38～40℃)、発疹、ツツガムシ幼虫の刺し口が見られることが特徴です。これらの症状は、ツツガムシ幼虫に刺されてから5～14日後にみられます。

【予防法】

- ツツガムシは、田畑、山林、やぶ、河川敷、草原などに生息しています。これらの場所に立ち入るときは、次のようなことを心がけることが大切です。
- ①長袖、長ズボン、長靴、手袋などを着用し、素肌をできるだけ露出しない。
- ②ダニ忌避剤、防虫剤を衣服に散布する。
- ③なるべく草むらに直接座らない。
- ④帰宅したら早めに入浴し、ツツガムシ幼虫を洗い流す。

ツツガムシの居そうな場所に立ち寄った5～14日後に発熱した場合、まず、つつが虫病を疑うことが大切です。早期に医療機関を受診し、適切な治療を受けましょう。



ヒゲツツガムシの幼虫 (撮影:衛生研究所)

※つつが虫病についてのパンフレットはこちらからダウンロードできます。  
http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/(衛生研究所HP)

【インフルエンザ情報】

インフルエンザの県全体の定点当たり報告数は3.2人となりました。引き続き、インフルエンザの予防対策をしっかりとりましょう。

1 迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数(第20週)

	A型	B型	不明
村山地区	26	41	1
最上地区	2	12	
置賜地区	8	52	
庄内地区	4	5	
合計	40	110	1

2 集団発生状況(県健康福祉企画課まとめ 第20週)

- 村山地区:2施設(小学校1、中学校1)
- 最上地区:1施設(高校1)
- 置賜地区:1施設(幼稚園・保育所1)

こまめな手洗いとマスク着用を心がけ、体調管理に努めましょう。「かかったかな」と思ったら、早めに医療機関を受診しましょう。

